



新年祝賀会



モデル町会健康体操

し、今年度も、今年度

昨年度末より新型コロナウイルスの感染流行という歴史的に大きな出来事になるような状況に直面しています。ニュースや特別番組等を見ると世界中に想像をはるかに超える変化をもたらしています。感染拡大の影響は際限なく深く広がり、仕事が脅かされる恐ろしさがひしひしと伝わってきます。

もう一つ、松本市としての出来事で、市長選が行われ16年ぶりに新しい市長に代わりました。選挙戦を通して各候補の政策をお聞きし、今まであまり意識してこなかった市の課題も改めて認識しました。新市長の政策実現にとっても期待します。

町会連合会長就任にあたって

波田地区町会連合会長 野村 幸男



館報 はだ



令和2年5月1日現在

世帯数 6,213戸
人口 15,572人
男 7,509人
女 8,063人

は新型コロナウイルスの影響が大きく、これらの活動も縮小せざるを得ない状況です。大変残念ですが実際、水輪花火大会、さいさい祭は中止となりました。このように人が動いたり、集まったりの活動は日が経つにつれ難しくなってきました。

また、波田が松本市に合併して10年の節目を迎えました。懸案となっている病院建設は宮地鉄工所の跡地が白紙に戻り、改めて検討することとなりました。波田を取り巻く交通インフラも中部縦貫自動車道波田インターまでの用地買収が始まり、これらが整備されれば波田も松本平西部地域の要として大きく発展していくことと思います。

一方で超少子高齢化、人口減少、だんだん増えていく社会保障費、度重なる大災害の復興費、追い打ちをかける新型コロナウイルス感染症拡大による経済圧迫等、どれをとっても重大な問題です。このような解決に手が届かないような重大な事も新型コロナウイルス感染症拡大防止をまず優先させなければならぬ現実の中で、自分たちの生活の上に立って自分ができることを模索していくこととなります。



隣組文化祭の様子



その上、2025年問題も間近になり、私も丁度団塊の世代最後の70才となり、何ができるかと考えさせられます。核家族化、都市化で人間関係が希薄になってきたといわれる今、繋がりのある社会が求められてきています。

度でまだ昔からの世帯が多い町会です。2年ほど前、有志によりマレットゴルフ同好会が立ち上がり、シーズンは月1回の大会、年3回程度の懇親会が予定されています。20名程度の会員ですが、外に出て人との会話を楽しんでいます。また、昨年はある隣組で文化祭(絵画、書、写真、盆栽などの展示やミニコンサート)を開催したり、そば会、焼肉会のような皆が集まる行事を多く行い、隣組同士の繋がりを強めているという紹介もありました。この2つの事例は、町会も関わっていない住民の手で自発的に行われたものでした。また、活動を見て、地域包括ケアシステムの原点はこんなところにもあるのかと感じさせられました。これらが実現するうえでも、とにかく新型コロナウイルス感染拡大が早く終息することを祈るばかりです。

今年度、町会連合会長を仰せつかりました。もともとこのような器ではありませんが、各地区の町会長並びに、まちづくり協議会の皆さんの協力を頂きながら、微力ではありますが、ご支援ご協力を宜しくお願い致します。

笑顔で前進できる一年に

波田公民館長 輪湖 明

季節はまさに新緑萌ゆる活力に満ち溢れた、時節を迎えました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大問題は、わが国のみならず全世界的に大きな不安、犠牲を伴って出口の見えない状況を呈しております。

公民館事業も、3月から計画していたほとんどの行事・講座が中止または無期限延期となつてしまい、また施設利用についても、多くの皆様に大変なご不便をおかけしなくてはならず、心苦しい思いで一杯です。今後とも状況によっては、皆様のご理解・ご協力をいただきながら、公民館諸活動を制限せざるを得ない場面も多々考えられますが、よろしくお願い申し上げます。

さて、新年度も公民館では、地域の皆様の「集いの場・学びの場・絆づくりの場」として、文化・歴史・体育等々の諸行事・講座などをご案内し、常に皆様のお声に耳を傾けながら、生きがい溢れる事業を提供すべく、職員一同精進していきたいと決意しております。

波田まちづくり協議会も新たな組織・体制として始動す

る年度でもあり、公民館としても町会連合会・町内公民館長会・各種団体の皆様方と共に、地域の皆様がより幸せに暮らし続けられる地域づくりの歩みを、着実に進めていける一年にできればと考えております。

最後になりましたが、3月末をもつて職員の森が移動となり、新たに堀内が着任しました。変わらぬご指導の程お願い申し上げます。

新型コロナウイルス問題が一刻も早く終息し、笑顔で生き生きと思ふ存分に活動できる日常が戻ってきますこと、そして皆様方の益々のご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年度を迎えるの挨拶とさせていただきます。

令和2年度 波田公民館職員体制について

4月の人事異動に伴う波田公民館の職員体制は次のとおりとなります。

公民館長 輪湖 明

館長補佐 齋藤 真一

(波田支所長補佐と兼務)

主査 大月 美知

臨時職員 堀内 琴葉

臨時職員 吉澤 和枝

以上の体制で公民館業務を運営していきます。

よろしく願います。

桜と新型と…



庭に桜を一本植えたこともあり今年は春が来ることを楽しみにしていたところ、この「新型コロナウイルス」です。自粛・中止・休校などなど気持ちも塞ぎがちなとき、近所の桜を見に行きました。

この桜は、朝から夕方まで多くの方で賑わう名所の一つですが、この日は地元ナンバーの車が数台、皆静かに一定の距離をとりながらカメラを向けていました。

こちらの家の方に話を伺うと、わざわざ出歩いてきた桜の写真を見ながら、今年は、観光バスが来ないこと、ゴミのこと、写

真のことなどお話をされるその表情は、やはり寂しそうでした。

曇り空ながら満開の翌日、私が行ったその時間にいたのは近所のご夫婦だけでした。

さて、来年は入園、入学式、歓送迎会、そしてお花見などを普通(盛大)にするため、自分は…今…など考えながら車に戻ろうとすると、「ホーホケキョ、ケキョ…」『来年も桜は咲くよ。そしたらみんなでお花見しよう。』とウグイスに言われたような気がして、ほっこりできたので、元気にエンジンスタートです。



新緑が芽生え、初夏の陽気を感じるようになりました。

新年度が始まり心新たにされている方も多くいらっしゃるかと思います。

我が家は子どもが学校を卒業したため心機転部屋の模様替えを行いました。昨年度までの子供部屋は部屋二つがなかつた十二畳ほどの空間でしたが、持て余して半分物置になつていました。そこで、この空間を半分に区切り二方を子供部屋、もう一方を書庫にしようと考えたのです。

部屋を区切る方法は色々ありますが、前から気になっていた2×4材を柱にする方法を試してみました。ホームセンターで適当な長さの2×4材と床天井を固定する部品を購入。わずかな手間で空間の真ん中に二本の柱を作ることができました。後は百円ショップで購入した突っ張りカーテンを組み合わせて、間仕切りの完成です。

一か月ほど経ちますが、子どもは適度な広さの部屋が気に入ったようです。私は前から欲しかった落ち着ける場所ができて大満足です。ちょっとした引越気分も味わえる部屋の模様替え。皆さんもいかがでしょう。